

同志社大学フォーミュラプロジェクト
4月活動報告

新春の候、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は同志社大学フォーミュラプロジェクト（以下 DUFJ）の4月の活動についてご報告させていただきます。

現在、当プロジェクトではスポンサー企業様・個人支援者様の御支援・御協力により活動を進めており、今年度の大会でより高い成績を獲得するための車両を作り上げるべく、設計製作を行っております。

そして、多大なるご支援していただいております企業の皆様、先生方、OB の皆様方に深く感謝いたします。今後とも宜しく願い申し上げます。



図1. 21project の車両

1. 活動報告

22pro.車両の低速度走行

5月2日に今年度車両の走行を行いました。

開始直後は電装関連のトラブルがありましたが、すぐに改善され無事に走行することができました。

今回の走行会において、エアロデバイスやカウルは製作中のため取り付けることはできませんでしたが、

自分たちで設計製作した車両が実際に走行している光景には大きな達成感と感動がありました。

次の走行会までに今回得られた課題を解決できるように日々励んでおります。

(前回の月報において、4月29日を予定しておりました走行会ですが、悪天候が予想されたため5月2日に延期されました)

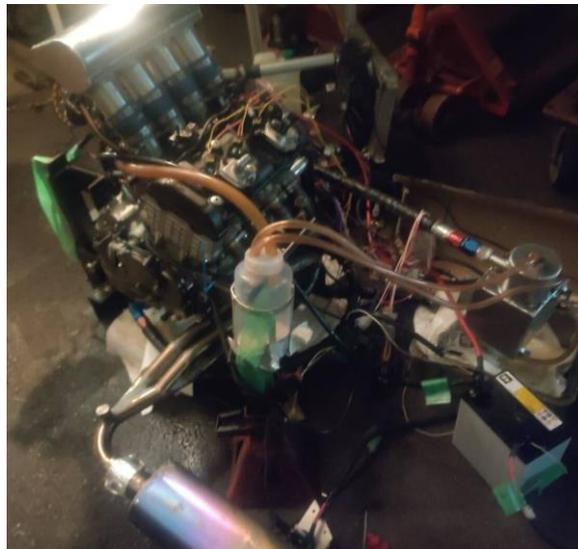


図 1. 22project の車両

新ハーネスでのエンジン始動

今年度のハーネスを使いエンジン始動の確認と接続を確認しました。

上手く油圧がかからなかったのですが、無事に始動でき問題なく回すことができました。



スポンサー様

株式会社ザム・ジャパン様にスプロケットをご支援していただきました。
ご支援していただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



図 3. 株式会社ザム・ジャパン様よりご支援していただいた製品

株式会社ヒロミツ製作所様より燃料タンクの加工をしていただきました。
ご支援していただきありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



図 4.株式会社ヒロミツ様と加工していただいた燃料タンク

株式会社丸三自動車商会様よりワイヤーを協賛価格にて提供していただきました。
ご支援していただきありがとうございました。今後ともよろしく願いたします。



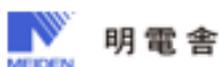
図 5. 提供していただいたシフターケーブル、クラッチケーブル、スロットルケーブル

日立アステモ様よりブレーキラインをご支援していただきました。
ご支援していただきありがとうございました。今後ともよろしく願いたします。



図 6.提供していただいたブレーキライン

スポンサー様一覧



3. 今後の主な活動予定

5月7日～22日 静的資料の作成と点検

5月29日 シェイクダウン(泉大津フェニックス)

4. 最後に

企業の皆様、先生方、OB の皆様方のご協力の元、無事に低速度ではありますが走行を行うことができました。大会に向けて現在ある問題を解決すべくチーム一丸となり活動を行うと同時に、静的審査への準備もしっかり行いたいと思います。

夏が近づくにつれて天候や気温の変化が大きい日々が続きますが、

これまで通り感染対策や体調管理をしっかりと行い精進してまいります。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

同志社大学フォーミュラプロジェクト (DUFPP)
2022年度プロジェクト総務 野口 創太

〒610-0394

京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学

URL : <http://dufp.racing>

E-mail : cguf5056@mail4.doshisha.ac.jp
